

## 厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）

### 分担研究報告書

#### 産科医療提供体制評価のための産婦人科医を対象としたアンケート調査

研究代表者	村松圭司	産業医科大学・医学部・公衆衛生学・准教授
分担研究者	木村正	大阪大学・大学院医学系研究科産科学婦人科学講座・教授
分担研究者	光田信明	地方独立行政法人大阪府立病院機構・大阪母子医療センター・ 副院長
研究協力者	片桐季里	産業医科大学・医学部・医学科

#### 研究要旨

産科医師確保計画の実効性を高めるため、産科医師の医療提供体制の再構築や働き方改革に関する意識に関する調査を行った。主な診療科が産科、産婦人科、婦人科で、年齢が25歳から65歳の医師222名から回答を得た。年齢が上がるにつれて女性の割合が減少しているとともに、主たる所属施設での当直回数の分布にも違いが認められた。医療提供体制等に関する意向や実際に表明する意見等に「多元的無知」（集団の過半数が任意のある条件を肯定的に捉えているにも関わらず、他者が否定的であると想定しそれに沿った行動をしている状況）との関連は認められなかった。地域の医療機関の再編統合を阻害する他の要因の探索が必要である。

#### A. 研究目的

医師不足等に対応した地域における周産期医療の確保については、産科医師の絶対数の減少や偏在といった既知のものに加え、医師の働き方改革への対応等の課題が指摘されている。医療提供側は以前より集約化による勤務条件の緩和を目指しているが、その成果は限定的であるとされている。都道府県は2018年の医療法改正によって2019年度末までに「産科医師確保計画」を策定することとされた。この計画の策定にあたっては、厚生労働省が「産科医師偏在指標」を公開したが、産科医師の働き方への考え等の質的な要因は加味されていない。また、産科医師が分娩取り扱いを継続することの障壁となる事物、制度、慣行、観念等の影響は明らかとなっていない。そこで、本研究では産科医師確保計画の実効性を高めるため、産科医師の医療提供体制の再構築や働き方改革に関する意識に関する調査を行った。

#### B. 研究方法

##### 対象者の選定

株式会社マクロミルケアネットが保有する医師モニターパネルに登録されている、主な診療科が産科、産婦人科、婦人科で、年齢が25歳から65歳の医師を対象とした。

## 調査内容

### ・基本情報

年齢、性別、配偶者の有無、子どもの有無、専門医取得状況について調査した。

### ・勤務状況に関する情報

分娩取り扱い有無、分娩取り扱い業務への従事希望、一月あたり分娩取り扱い件数、一月あたり平均当直回数、一週間平均勤務時間、職階、勤務形態について調査した。

### ・主たる所属施設に関する情報

所在する都道府県、母体搬送受け入れ有無、交代制勤務制度・短時間正規雇用制度・オンコール・宅直の有無、周産期母子医療センター指定有無について調査した。

・地域の分娩取り扱い医療機関の集約化・産科医療提供体制に関する議論への妊産婦を含む住民の参加・子育て中などで当直ができない医師の分娩取り扱い業務従事・分娩取り扱い医師が充足している地域から不足する地域へ異動させる行政の施策に関する意見

強く支持する(1)～全く支持しない(6)の6件法で極カテゴリー尺度を作成し、自身の意見について調査した。また、強く支持すると思う(1)～全く支持しないと思う(6)の6件法で極カテゴリー尺度を作成し、自身と同性・同世代の医師の意見について調査した。

・主たる所属施設の他の医療機関との統合・主たる所属施設の産科医療提供体制に関する議論への妊産婦を含む住民の参加

ぜひ支持したい(1)～絶対に支持したくない(7)の7件法で極カテゴリー尺度を作成し、自身の意向について調査した。また、どのように意見を表明するかについても同様に、強く支持する(1)～絶対に支持しない(7)の7件法で極カテゴリー尺度を作成し調査した。

### ・子どもが生まれた際の分娩取り扱い継続

子どもがいないと回答した医師に対して、ぜひ継続したい(1)～絶対に継続したくない(7)の7件法で極カテゴリー尺度を作成し、自身の意向について調査した。また、実際に分娩取り扱いを継続するかについても同様に、必ず継続する(1)～絶対に継続しない(7)の7件法で極カテゴリー尺度を作成し調査した。

### ・行政からの分娩取り扱い医師が少ない地域への異動の打診への対応

ぜひ異動したい(1)～絶対に異動したくない(7)の7件法で極カテゴリー尺度を作成し、自身の意向について調査した。また、実際に異動するかについても同様に、必ず異動する(1)～絶対に異動しない(7)の7件法で極カテゴリー尺度を作成し調査した。

## 集計方法

### ・単純集計

それぞれの設問について単純集計を行った。地域の分娩取り扱い医療機関の集約化・産科医療提供体制に関する議論への妊産婦を含む住民の参加・子育て中などで当直ができない医師の分娩取り扱い業務従事・分娩取り扱い医師が充足している地域から不足する地域へ異動させる行政の施策に関する意見については、それぞれ自他のイメージ別にヒストグラ

ムを作成した。

・クロス集計

年齢階級(39歳以下、40-49歳、50-59歳、60歳以上)・性・配偶者の有無・子どもの有無・分娩取り扱いに関する実際と希望・主たる勤務先種類・職階・専門医取得状況の別に、他の設問とのクロス集計を行った。連続変数は中央値と四分位数、カテゴリ変数は件数と%を掲載した。連続変数は性・配偶者の有無・子どもの有無についてはウィルコクソンの順位和検定を、その他はクラスカル・ウォリス検定を用い、両側P値<0.05を有意とした。カテゴリ変数の比較はカイ二乗検定を用い、両側P値<0.05を有意とした。

・医師の自他イメージによる分類と意向及び実際の行動との関連

集団の過半数が任意のある条件を肯定的に捉えているにも関わらず、他者が否定的であると想定しそれに沿った行動をしている状況を「多元的無知」と呼ぶ。医師の医療提供体制等に関する多元的無知の存在の有無及びそれが医師本人の意見や実際の行動予定と関連しているかを検討することとした。地域の分娩取り扱い医療機関の集約化・産科医療提供体制に関する議論への妊産婦を含む住民の参加・子育て中などで当直ができない医師の分娩取り扱い業務従事・分娩取り扱い医師が充足している地域から不足する地域へ異動させる行政の施策に関する意見のそれぞれについて、1~3を支持・4~6を不支持とし、自他ポジティブ(positive attitudes)、多元的無知(self-other discrepancy)、ネガティブーポジティブ(negative-positive attitudes)、自他ネガティブ(negative attitudes)の4群に分類した。医療提供体制等への意向及び実際の意見表明や行動について、4群の回答の分布を比較するために箱ひげ図を作成し、7件法の回答を連続変数と見做しDunnの検定を用いて多重検定を行い両側P値<0.05を有意とした。全ての集計及び統計解析はStata 17.0(Texas, USA)を用いて行った。

### フリーコメント

地域の分娩取り扱い医療機関の集約化・産科医療提供体制に関する議論への妊産婦を含む住民の参加・子育て中などで当直ができない医師の分娩取り扱い業務従事・分娩取り扱い医師が充足している地域から不足する地域へ異動させる行政の施策について、それぞれどのような条件であれば支持できるか、若しくは既に支持の意向が有る場合はその前提条件について自由記述欄を設けた。また、本調査全般に関するコメントを記載できる欄も設けた。なお、これらの自由記述については、別の報告で取り扱うこととし、本報告では選択肢のある設問についてのみ結果及び考察を行う。

### 倫理審査

この研究計画は、産業医科大学倫理委員会での承認を受けて実施した。(承認番号:IDR3-001)

## C. 研究結果

主たる所属施設での所属診療科が産婦人科・産科・婦人科である医師 222 名から回答を得た。年齢は 27-65 歳で、平均 47 歳(標準偏差 11)であった。(表 1)性別では男性が 161 名(73%)であった。(表 2)配偶者有無別では、配偶者ありと回答した者が 189 名(85%)であった。(表 3)子どもの有無では子どもありと回答した者が 78%であった。(表 4)分娩取り扱い有無では分娩を取り扱っていると回答した者、分娩取り扱い業務に従事することを希望すると回答した者がそれぞれ 190 名(86%)であった。(表 5)主たる所属施設の都道府県は、最も多いのが東京都(32 名、14%)であり、ついで大阪府(16 名、7.2%)であった。(表 6)月間の分娩取り扱い件数が 0 件と回答した者は 24 名(11%)で、最も多かったのが 10~19 件で 70 名(32%)であった。(表 7)主たる勤務先の母体搬送受入状況では、母体搬送を受け入れていると回答したのが 132 名(60%)であった。一月あたりの平均的な当直回数は、主たる勤務先と兼業先でそれぞれ平均 5.0 回、1.2 回であった。(表 9)なお、主たる従事先の当直回数を 80 回と回答した者が 1 名存在したため、表 9 の主たる勤務先では無回答として取り扱った。主たる勤務先での交代制勤務・短時間正規雇用制度の有無では、それぞれ 47 名(21%)、90 名(41%)がありと回答した。(表 10)当直を除く 1 週間の平均的な勤務時間は、主たる勤務先と兼業先でそれぞれ平均 47 時間、7.5 時間であった。(表 11)主たる勤務先でのオンコールや宅直の有無では、それぞれ 165 名(74%)、79 名(36%)がありと回答した。(表 12)回答者の主たる勤務先の種類は、総合周産期母子医療センターが 37 名(17%)、地域周産期母子医療センターが 54 名(24%)、その他の病院が 75 名(34%)、有床診療所が 35 名(16%)、無床診療所が 21 名(9.5%)であった。(表 13)職階別では、組織の長(教授、診療科長、主任部長等)が 53 名(24%)、主任ではない部長・医長が 67 名(30%)、医員、医師名(常勤)が 80 名(36%)、医員、医師(非常勤)が 20 名(9%)であった。(表 14)勤務形態別では特段の緩和措置のない者が 156 名(70%)で最多であり、当直減が 21 名(9.5%)、当直免除が 19 名(8.6%)、外来のみが 20 名(9.0%)、週 40 時間未満の時短勤務が 9 名(4.1%)であった。(表 15)専門医の取得状況別では、専門医取得前、取得後 5 年未満、5~10 年未満、10~15 年未満、15~20 年未満、20 年以上の者がそれぞれ 19 名(8.6%)、34 名(15.3%)、29 名(13.1%)、19 名(8.6%)、27 名(12.2%)、94 名(42.3%)であった。(表 16)

地域の分娩取り扱い医療機関の集約化に関する支持では、自身の及び同性・同世代ともに最頻値は 2 であった。(図 1)地域の産科医療提供体制に関する議論に妊産婦を含む住民が参加することに関する支持では、自身及び同性・同世代ともに最頻値は 3 であった。(図 2)子育て中などで当直ができない医師が分娩取り扱い業務に従事することに関する支持では、自身及び同性・同世代ともに最頻値は 2 であった。(図 3)分娩取り扱い医師が充足している地域から不足する地域へ異動させる行政の施策に関する支持では、自身及び同性・同世代ともに最頻値は 3 であった。(図 4)

主たる所属施設の集約化に関する支持については、意向及び実際の意見表明ともに最頻値は 3 であった。(図 5)主たる所属施設の所在する地域の産科医療提供体制に関する議論に

妊婦を含む住民が参加することへの支持については、意向の最頻値は4、実際の意見表明の最頻値は3であった。(図6)将来子どもが生まれた際の分娩取り扱い継続の意向及び実際の意見表明ともに最頻値は2であった。(図7)なお、この問は子どもがいないと回答した32名を対象としている。行政からの異動要請に対する意向及び実際の意見表明ともに最頻値は7であった。(図8)

年齢階級別のクロス集計では、年齢階級が上がるほど男性の割合が高かった。(表17)子どもの有無では、39歳以下の45%、その他の年齢階級の12%が、子どもがいないと回答していた。短時間正規雇用制度の有無について、39歳以下及び40-49歳の群では約半数がありと回答していたが、50歳以上では約四分の一がありと回答していた。医療提供体制等に関する設問への回答では特段の傾向は認められなかった。

性別のクロス集計では、主たる所属施設での当直回数の中央値は男女どちらも4であるが、その範囲が異なっていた(男性2-7、女性0-5)。(表18)勤務形態について、緩和なしと回答した者は女性で有意に少なかった。医療提供体制等に関する設問への回答では特段の傾向は認められなかった。

分娩取り扱い業務への実際の従事や従事希望別のクロス集計では、妊産婦の議論参加支持について有意な差が認められた。(表19)

所属施設の種類別のクロス集計では、総合周産期母子医療センター群の100%、地域周産期母子医療センター群の98%が母体搬送を受け入れていると回答していた。(表20)交代制勤務は総合周産期母子医療センター群の31%、地域周産期母子医療センター群の14%、その他病院群の21%、有床診療所群の23%がありと回答していた。短時間正規雇用制度は総合周産期母子医療センター群の61%、地域周産期母子医療センター51%、その他病院群の41%、有床診療所の16%、無床診療所の22%がありと回答していた。医療提供体制等に関する設問への回答では、集約化に関する複数の設問で有意な差が認められた。

配偶者の有無別や子どもの有無別、職階別、専門医取得状況別のクロス集計では、医療提供体制等に関する設問への回答では特段の傾向は認められなかった。(表21,22,23,24)

分娩取り扱い医療機関の集約化に関する自他イメージは、自他ポジティブ群166名(75%)、多元的無知群9名(4.1%)、ネガティブーポジティブ群16名(7.2%)、ネガティブ群31名(14%)であった。(表25)自身の主たる所属施設の集約化に関する意向及び実際に表明する態度について、自他ポジティブ群と多元的無知群との間に有意な差は認められなかった。(表26・図9、表27・図10)

妊婦を含む住民の医療提供体制に関する議論への参加に関する自他イメージは、自他ポジティブ群120名(54%)、多元的無知群16名(7.2%)、ネガティブーポジティブ群11名(5.0%)、ネガティブ群75名(34%)であった。(表28)自身の主たる所属施設が所在する地域の医療提供体制に関する議論への妊婦を含む住民の参加に関する意向及び実際に表明する態度について、自他ポジティブ群と多元的無知群との間に有意な差は認められなかった。(表29・図11,表30・図12)

分娩取り扱い医師が充足している地域から不足する地域へ異動させる行政の施策に関する自他イメージは、自他ポジティブ群 97 名(44%)、多元的無知群 16 名(7.2%)、ネガティブ・ポジティブ群 7 名(3.2%)、ネガティブ群 102 名(46%)であった。(表 31) 自身が依頼された場合の異動に関する意向及び実際に表明する態度について、自他ポジティブ群と多元的無知群との間に有意な差は認められなかった。(表 32・図 13、表 33・図 14)

子どもが生まれた際の分娩取り扱いについては、十分な回答数が得られなかったため解析を行わなかった。

#### D. 考察

本研究は産婦人科等医師 222 名に対し、医療提供体制等に関する施策への支持等について調査を行った。クロス集計では、年齢が上がるにつれて女性の割合が減少しているとともに、主たる所属施設での当直回数の分布にも違いが認められた。多元的無知に関する分析では、産婦人科等医師において、自他ポジティブ群と多元的無知群との間に医療提供体制等に関する意向や実際に表明する意見等に差が認められなかった。

医師の働き方改革を実現していく上で、当直の回数と労働時間とを適切に管理することが必要となってくる。厚生労働省の審議会資料では、産婦人科医が最も労働時間が長いとされている。<sup>1</sup>中井らは、産婦人科医師の労働状況として日当直の回数は概ね労働基準法の範囲内であるものの、就業時間が長いことを指摘している。<sup>2</sup>本調査の結果でも、主たる勤務先での当直回数は中央値 4 回、平均 5 回程度と、概ね週 1 回程度となっており、先行調査と整合していると考えられる。また、一週間あたり平均労働時間の中央値は 45 時間、平均も 47 時間であるが、ばらつきが大きいいため産婦人科医の中でも働き方が大きく異なっていることを示唆している。

医療提供体制等に関する自他イメージについては、地域の分娩取り扱い医療機関の集約化、産科医療提供体制に関する議論への妊産婦を含む住民の参加、子育て中などで当直ができない医師の分娩取り扱い業務従事については自他ポジティブである者のみで過半数であったが、分娩取り扱い医師が充足している地域から不足する地域へ異動させる行政の施策については最も多いのが自他ネガティブ群であり、この項目については多元的無知の前提(集団の過半数が任意のある条件を肯定的に捉えている)が成立しないと考えられる。したがって、以下に考察する内容は医師が少数である地域への異動に関する施策を除いたものである。

多元的無知に関しては、本調査では自他ポジティブ群と多元的無知群との間に有意な差が認められなかった。他領域での多元的無知に関する先行研究では、男性の育児休業取得に多元的無知が関与していることが明らかとなっている。本調査の結果では、多元的無知の状態である者の数も少なく、医療提供体制等に関する自身の考えと、同性・同世代の考えとの間に違いがないと考える者が多かったと言える。また、昨年度のインタビュー調査で「当直できないならお産をとらなくても良いと考える産婦人科医がいる」ことが分娩取り扱い継

続を困難にしている可能性を指摘したが、本調査では過半の医師が支持する側であった。ただし、少数でもネガティブな意見がある場合、そのことが意思決定に関与する可能性はあり、フリーコメントの分析が必要と考えられた。更に、子どものいない者に限定して子どもが生まれた場合の意向や実際の分娩取り扱い継続について調査を行ったが、今回の調査参加者に子どもがいる者が多く含まれていたため解析することができなかった。

多元的無知が関与していなかった理由として、以下の2点が考えられる。初めに、日本産婦人科学会等が過去に集約化に関する声明を出す等、産婦人科医の中に既にコンセンサスが形成されている可能性がある。一方でグランドデザイン 2015 では集約化は進んでいないとも書かれており、産婦人科医の意識以外の要因が集約化を阻害している可能性がある。<sup>3</sup>次に、当初の想定より多元的無群に含まれる回答者数の少なさである。これについては後続の大規模調査で解決できる可能性があるが、多元的無知以外の要因を探索することが有用な可能性がある。この点については次年度の調査を計画する段階で考慮したい。その他、医師の少ない地域への異動は他の設問と異なり支持しない側の回答が多く、施策の実現可能性自体が低い可能性が示唆され、自他のイメージには寄らない可能性が考えられた。

## E. 結論

産婦人科医に対し医療提供体制等に関する意識調査を行った。医療機関の集約化や妊婦を含む住民の医療提供体制に関する議論への参加について、産婦人科医は前向きな者が多く、これらを阻害する他の要因について検討することが必要と考えられた。医師の少数地域への異動については、施策の実現可能性が低いことが示唆された。本調査を踏まえ、大規模調査を実施する予定である。

(参考文献)

1. 第12回医師の働き方改革の推進に関する検討会 資料(思慮う 2-1). Available: [https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_19356.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_19356.html)
2. 中井章人. 働き方改革がはじまる!(第2回) 宿日直許可基準と産婦人科勤務医師の就労状況. 産科と婦人科. 2019;86: 1257-1265.
3. 日本産婦人科学会. 産婦人科医療改革グランドデザイン 2015. 2015. Available: [http://www.jsog.or.jp/news/pdf/gl2015\\_20150620.pdf](http://www.jsog.or.jp/news/pdf/gl2015_20150620.pdf)

## F. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

**G. 知的所有権の取得状況**

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3.その他

なし



表 1. 年齢

	平均	標準偏差	最小値	最大値	中央値
年齢	47	10.95	27	65	47

表 2. 性別

	n (%)
男性	161 (73)
女性	61 (28)

表 3. 配偶者の有無

	n (%)
配偶者あり	189 (85)
配偶者なし	33 (15)

表 4. 子どもの有無

	n (%)
子どもあり	174 (78)
子どもなし	48 (22)

表 5. 分娩取り扱い有無

	n (%)
分娩の取り扱い	
取り扱っている	190 (86)
取り扱っていない	32 (14)
分娩取り扱い業務に従事することを希望するか	
はい	190 (86)
いいえ	32 (14)

表 6. 主たる所属施設の所在地

	n (%)
北海道	13 (5.9)
青森県	3 (1.4)
岩手県	1 (0.5)
宮城県	7 (3.2)
秋田県	2 (0.9)

山形県	3 (1.4)
福島県	3 (1.4)
茨城県	7 (3.2)
栃木県	2 (0.9)
群馬県	2 (0.9)
埼玉県	4 (1.8)
千葉県	7 (3.2)
東京都	32 (14)
神奈川県	14 (6.3)
新潟県	7 (3.2)
富山県	4 (1.8)
石川県	2 (0.9)
福井県	1 (0.5)
山梨県	0 (0)
長野県	2 (0.9)
岐阜県	5 (2.3)
静岡県	3 (1.4)
愛知県	16 (7.2)
三重県	1 (0.5)
滋賀県	2 (0.9)
京都府	5 (2.3)
大阪府	16 (7.2)
兵庫県	10 (4.5)
奈良県	4 (1.8)
和歌山県	0 (0)
鳥取県	2 (0.9)
島根県	2 (0.9)
岡山県	5 (2.3)
広島県	5 (2.3)
山口県	2 (0.9)
徳島県	0 (0)
香川県	1 (0.5)
愛媛県	2 (0.9)
高知県	0 (0)
福岡県	12 (5.4)
佐賀県	0 (0)

長崎県	3 (1.4)
熊本県	1 (0.5)
大分県	3 (1.4)
宮崎県	1 (0.5)
鹿児島県	3 (1.4)
沖縄県	2 (0.9)

表 7. 月間の分娩取扱い件数

	n (%)
0 件	24 (11)
1～2 件	5 (2.3)
3～5 件	35 (16)
6～9 件	33 (15)
10～19 件	70 (32)
20～29 件	24 (11)
30～39 件	14 (6.3)
40 件以上	17 (7.7)

表 8. 主たる勤務先の母体搬送受入状況

	n (%)
あり	132 (60)
なし	90 (41)

表 9. 一月あたりの平均的な当直回数

	有効 ケー ス数	平均	標準偏差	最小値	最大値	中央値
主たる勤務先 平均当直回数(月)回/月	221	5.0	5.59	0	30	4
兼業先 平均当直回数(月)回/月	222	1.2	2.38	0	15	0

表 10. 主たる勤務先での交代制勤務・短時間正規雇用制度の有無

	n (%)
交代制勤務の有無	
あり	47 (21)
なし	175 (79)

短時間正規雇用制度

あり	90 (41)
なし	132 (60)

表 11. 当直を除く 1 週間の平均的な勤務時間

	平均	標準偏差	最小値	最大値	中央値
主たる勤務先 平均勤務時間 (時間/週)	47	25	2	288	45
兼業先 平均勤務時間 (時間/週)	7.5	27	0	354	0

表 12. 主たる勤務先でのオンコールや宅直の有無

	n (%)
オンコールの有無	
あり	165 (74)
なし	57 (26)
宅直の有無	
あり	79 (36)
なし	143 (64)

表 13. 主たる勤務先

	n (%)
総合周産期母子医療センター	37 (17)
地域周産期母子医療センター	54 (24)
その他の病院	75 (34)
有床診療所	35 (16)
無床診療所	21 (9.5)

表 14. 職階

	n (%)
組織の長 (教授、診療科長、主任部長等)	53 (24)
主任ではない部長・医長	67 (30)
医員、医師 (常勤)	80 (36)
医員、医師 (非常勤)	20 (9)
その他	2 (0.9)

表 15. 勤務形態

	n (%)
緩和なし	156 (70)
当直減	21 (9.5)
当直免除	19 (8.6)
外来のみ	20 (9)
40 時間未満の時短勤務	9 (4.1)
その他	5 (2.3)

表 16. 産婦人科専門医の取得状況

	n (%)
専門医取得前	19 (8.6)
専門医取得後 5 年未満	34 (15)
専門医取得後 5～10 年未満	29 (13)
専門医取得後 10～15 年未満	19 (8.6)
専門医取得後 15～20 年未満	27 (12)
専門医取得後 20 年以上	94 (42)

図 1. 地域の分娩取り扱い医療機関の集約化に関する支持

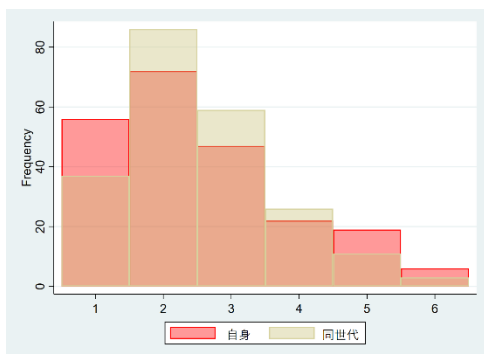


図 2. 地域の産科医療提供体制に関する議論に妊産婦を含む住民が参加することに関する支持

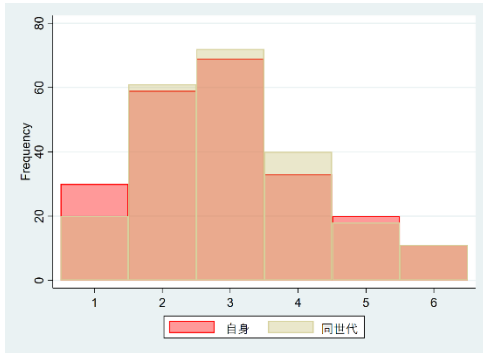


図3. 子育て中などで当直ができない医師が分娩取り扱い業務に従事することに関する支持

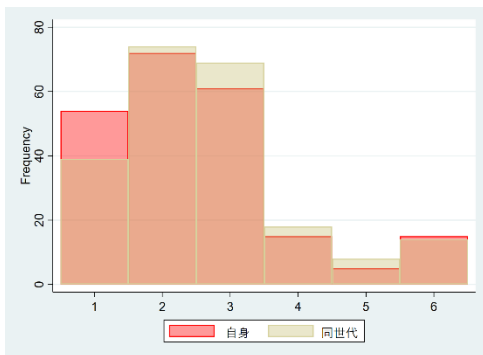


図4. 分娩取り扱い医師が充足している地域から不足する地域へ異動させる行政の施策に関する支持

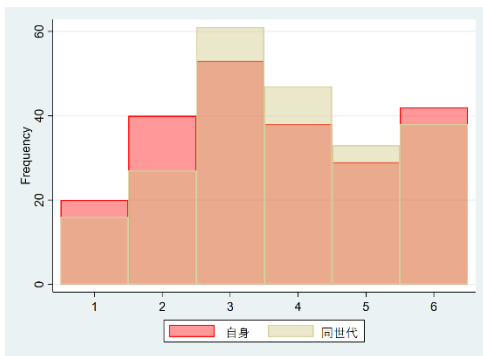


図5. 主たる所属施設の集約化に関する支持

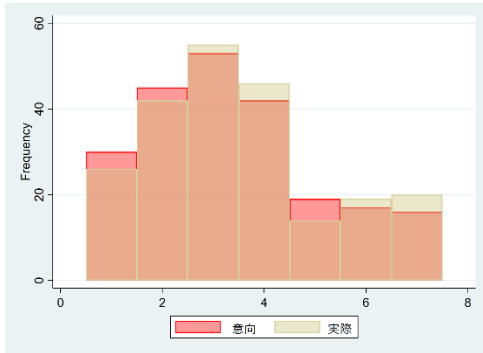


図6. 主たる所属施設の所在する地域の産科医療提供体制に関する議論に妊婦を含む住民が参加することへの支持

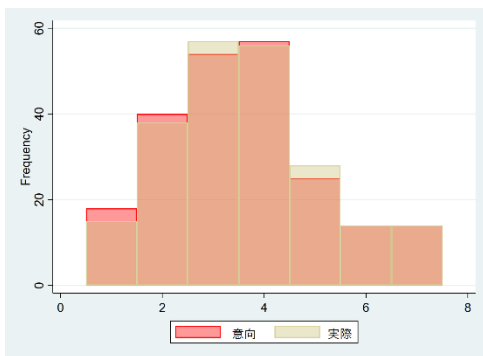


図7. 将来子どもが生まれた際の分娩取り扱い継続の意向及び実際の意見表明

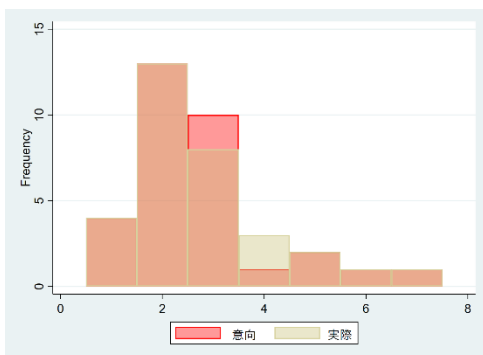


図8. 行政からの異動要請に対する意向及び実際の意見表明

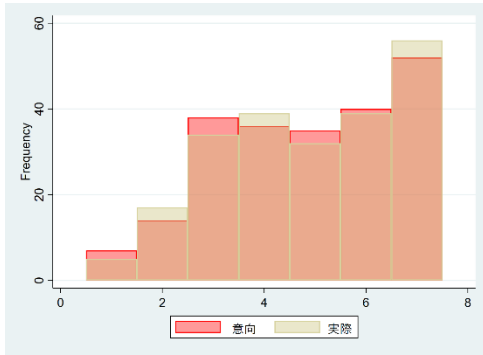




表 17. 年齢階級別のクロス集計

		-39 (n=67)	40-49 (n=52)	50-59 (n=57)	60- (n=33)	p 値
性別						
男性		36 (54%)	37 (71%)	48 (84%)	30 (91%)	<0.001
女性		31 (46%)	15 (29%)	9 (16%)	3 (9%)	
配偶者						
あり		47 (70%)	48 (92%)	48 (84%)	33(100%)	<0.001
なし		20 (30%)	4 (8%)	9 (16%)	0 (0%)	
子ども						
あり		37 (55%)	46 (88%)	50 (88%)	29 (88%)	<0.001
なし		30 (45%)	6 (12%)	7 (12%)	4 (12%)	
分娩取り扱い業務						
従事あり						0.12
	希望あり	61 (91%)	40 (77%)	43 (75%)	28 (85%)	
	希望なし	3 (4%)	5 (10%)	4 (7%)	0 (0%)	
従事なし						
	希望あり	2 (3%)	4 (8%)	2 (4%)	1 (3%)	
	希望なし	1 (1%)	3 (6%)	8 (14%)	4 (12%)	
分娩取扱件数						
0 件		3 (4%)	6 (12%)	10 (18%)	4 (12%)	0.32
1~2 件		2 (3%)	1 (2%)	1 (2%)	0 (0%)	
3~5 件		10 (15%)	8 (15%)	7 (12%)	7 (21%)	
6~9 件		10 (15%)	14 (27%)	5 (9%)	3 (9%)	
10~19 件		28 (42%)	9 (17%)	17 (30%)	12 (36%)	
20~29 件		5 (7%)	6 (12%)	8 (14%)	5 (15%)	
30~39 件		4 (6%)	3 (6%)	4 (7%)	1 (3%)	
40 件以上		5 (7%)	5 (10%)	5 (9%)	1 (3%)	
母体搬送受入						
あり		50 (75%)	38 (73%)	25 (44%)	27 (52%)	<0.001
なし		17 (25%)	14 (27%)	32 (56%)	16 (48%)	

主勤務先平均当直回数(回/月)	4 (3-6)	4 (2-6)	4 (0-7)	4 (0-10)	0.82
兼業先平均当直回数(回/月)	0 (0-2)	0 (0-4)	0 (0-0)	0 (0-0)	<0.001
交代制勤務					
あり	16 (24%)	12 (23%)	10 (18%)	9 (27%)	0.72
なし	51 (76%)	40 (77%)	47 (82%)	24 (73%)	
短時間正規雇用制度					
あり	39 (58%)	24 (46%)	15 (26%)	9 (27%)	<0.001
なし	28 (42%)	28 (54%)	42 (74%)	24 (73%)	
主勤務先平均勤務時間(時間/週)	45 (40-60)	45 (40-55)	44 (35-50)	50 (40-60)	0.30
兼業先平均勤務時間(時間/週)	0 (0-8)	0 (0-8)	0 (0-5)	0 (0-0)	0.012
オンコール					
あり	49 (73%)	43 (83%)	41 (72%)	22 (67%)	0.37
なし	18 (27%)	9 (17%)	16 (28%)	11 (33%)	
宅直					
あり	12 (18%)	16 (31%)	34 (60%)	14 (42%)	<0.001
なし	55 (82%)	36 (69%)	23 (40%)	19 (58%)	
主たる勤務先					
総合周産期母子医療センター	22 (33%)	9 (17%)	3 (5%)	2 (6%)	<0.001
地域周産期母子医療センター	18 (27%)	20 (38%)	10 (18%)	5 (15%)	
その他の病院	21 (31%)	15 (29%)	23 (40%)	12 (36%)	
有床診療所	4 (6%)	3 (6%)	15 (26%)	9 (27%)	
無床診療所	2 (3%)	5 (10%)	6 (11%)	5 (15%)	
職階					
組織の長	0 (0%)	5 (10%)	21 (37%)	22 (67%)	<0.001
主任ではない部長・医長	8 (12%)	32 (62%)	17 (30%)	7 (21%)	
医員、医師 (常勤)	50 (75%)	12 (23%)	12 (21%)	3 (9%)	

医員、医師（非常勤）	9 (13%)	3 (6%)	6 (11%)	0 (0%)	
その他	0 (0%)	0 (0%)	1 (2%)	1 (3%)	
緩和なし	55 (82%)	38 (73%)	39 (68%)	20 (61%)	0.11
当直減	5 (7%)	7 (13%)	6 (11%)	2 (6%)	0.62
当直免除	3 (4%)	3 (6%)	4 (7%)	5 (15%)	0.26
外来のみ	1 (1%)	3 (6%)	6 (11%)	4 (12%)	0.12
40 時間未満の時短勤務	2 (3%)	2 (4%)	2 (4%)	1 (3%)	0.99
専門医取得状況					
取得前	17 (25%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	<0.001
5 年未満	31 (46%)	1 (2%)	0 (0%)	1 (3%)	
5～10 年未満	19 (28%)	7 (13%)	3 (5%)	0 (0%)	
10～15 年未満	0 (0%)	16 (31%)	0 (0%)	0 (0%)	
15～20 年未満	0 (0%)	22 (42%)	2 (4%)	2 (6%)	
20 年以上	0 (0%)	6 (12%)	52 (91%)	30 (91%)	
集約化を支持_自身	2 (1-3)	2 (1-3)	2 (2-4)	2 (2-3)	0.58
集約化を支持_同性同世代	2 (2-3)	2 (2-3)	2 (2-3)	2 (2-3)	0.96
妊産婦の議論参加支持_自身	3 (2-3)	3 (2-4)	3 (2-4)	3 (2-4)	0.82
妊産婦の議論参加支持_同性同世代	3 (2-3)	3 (2-4)	3 (2-4)	3 (2-4)	0.60
当直ができない医師の分娩取り扱い業務従事支持_自身	2 (1-3)	2 (1-3)	2 (2-3)	2 (2-3)	0.20
当直ができない医師の分娩取り扱い業務従事支持_同性同世代	2 (1-3)	2 (2-3)	3 (2-3)	3 (2-3)	0.19
産科医師不足地域への異動政策支持_自身	4 (2-5)	4 (2-5)	3 (2-5)	4 (2-5)	0.72
産科医師不足地域への異動政策支持_同性同世代	4 (3-5)	4 (3-5)	4 (3-5)	3 (3-5)	0.83
集約化を支持_意向	3 (2-4)	3 (2-4)	3 (2-5)	3 (2-4)	0.97
集約化を支持_実際	3 (2-4)	4 (2-5)	3 (2-4)	3 (2-4)	0.69
妊産婦の議論参加支持_意向	3 (2-4)	4 (3-4)	4 (2-5)	3 (2-4)	0.67
妊産婦の議論参加支持_実際	3 (3-5)	4 (3-4)	4 (2-5)	3 (2-4)	0.85
当直ができない医師の分娩取り扱い業務従事支持_意向	2 (2-3)	4 (3-5)			0.12

当直ができない医師の分娩取り扱い業務従事支持_実際	2 (2-3)	4 (4-5)			0.056
産科医師不足地域への異動政策支持_意向	5 (3-6)	5 (3-6)	5 (3-6)	5 (3-6)	0.91
産科医師不足地域への異動政策支持_実際	5 (3-6)	6 (4-6)	5 (3-7)	5 (3-7)	0.83

表 18. 性別のクロス集計

	男性 (n=15)	女性 (n=58)	p 値
年齢階級			
-39	36 (24%)	31 (53%)	<0.001
40-49	37 (25%)	15 (26%)	
50-59	48 (32%)	9 (16%)	
60-	30 (20%)	3 (5%)	
配偶者			
あり	133 (88%)	43 (74%)	0.013
なし	18 (12%)	15 (26%)	
子ども			
あり	124 (82%)	38 (66%)	0.01
なし	27 (18%)	20 (35%)	
分娩取り扱い業務			
従事あり			0.25
希望あり	129 (85%)	43 (74%)	
希望なし	8 (5.3%)	4 (6.9%)	
従事なし			
希望あり	5 (3.3%)	4 (6.9%)	
希望なし	9 (6%)	7 (12%)	
分娩取扱件数			
0 件	13 (8.6%)	10 (17.2%)	0.2
1~2 件	3 (2%)	1 (1.7%)	
3~5 件	20 (13%)	12 (21%)	
6~9 件	23 (15%)	9 (16%)	
10~19 件	49 (33%)	17 (29%)	
20~29 件	19 (13%)	5 (8.6%)	
30~39 件	12 (7.9%)	0 (0%)	
40 件以上	12 (7.9%)	4 (6.9%)	
母体搬送受入			

あり	94 (62%)	36 (62%)	0.98
なし	57 (38%)	22 (38%)	
主勤務先平均当直回数(回/月)	4 (2-7)	4 (0-5)	0.002
兼業先平均当直回数(回/月)	0 (0-2)	0 (0-0)	0.036
交代制勤務			
あり	33 (22%)	14 (24%)	0.72
なし	118 (78%)	44 (76%)	
短時間正規雇用制度			
あり	52 (34%)	35 (60%)	<0.001
なし	99 (66%)	23 (40%)	
主勤務先平均勤務時間(時間/週)	48 (40-60)	40 (32-55)	0.029
兼業先平均勤務時間(時間/週)	0 (0-7)	0 (0-6)	0.96
オンコール			
あり	118 (78%)	37 (64%)	0.034
なし	33 (22%)	21 (36%)	
宅直			
あり	60 (40%)	16 (28%)	0.1
なし	91 (60%)	42 (72%)	
主たる勤務先			
総合周産期母子医療センター	23 (15%)	13 (22%)	0.015
地域周産期母子医療センター	41 (27%)	12 (21%)	
その他の病院	52 (34%)	19 (33%)	
有床診療所	27 (18%)	4 (6.9%)	
無床診療所	8 (5.3%)	10 (17%)	
職階			
組織の長	42 (28%)	6 (10%)	<0.001
主任ではない部長・医長	53 (35%)	11 (19%)	
医員、医師（常勤）	45 (30%)	32 (55%)	

医員、医師（非常勤）	9 (6%)	9 (16%)	
その他	2 (1.3%)	0 (0%)	
緩和なし	120 (80%)	32 (55%)	<0.001
当直減	10 (6.6%)	10 (17.2%)	0.019
当直免除	11 (7.3%)	4 (6.9%)	0.92
外来のみ	6 (4%)	8 (14%)	0.011
40 時間未満の時短勤務	2 (1.3%)	5 (8.6%)	0.009
専門医取得状況			
取得前	11 (7.3%)	6 (10%)	0.003
5 年未満	20 (13%)	13 (22%)	
5～10 年未満	15 (9.9%)	14 (24%)	
10～15 年未満	10 (6.6%)	6 (10%)	
15～20 年未満	19 (13%)	7 (12%)	
20 年以上	76 (50%)	12 (21%)	
集約化を支持_自身	2 (2-3)	2 (1-3)	0.51
集約化を支持_同性同世代	2 (2-3)	2 (2-3)	0.63
妊産婦の議論参加支持_自身	3 (2-4)	3 (2-4)	0.57
妊産婦の議論参加支持_同性同世代	3 (2-4)	3 (2-4)	0.71
当直ができない医師の分娩取り扱い業務従事支持_自身	2 (2-3)	2 (1-3)	0.59
当直ができない医師の分娩取り扱い業務従事支持_同性同世代	2 (2-3)	3 (2-3)	0.54
産科医師不足地域への異動政策支持_自身	4 (2-5)	3 (3-5)	0.94
産科医師不足地域への異動政策支持_同性同世代	4 (3-5)	4 (3-4)	0.89
集約化を支持_意向	3 (2-4)	3 (2-5)	0.29
集約化を支持_実際	3 (2-4)	3 (2-5)	0.37
妊産婦の議論参加支持_意向	3 (2-4)	3 (3-5)	0.36
妊産婦の議論参加支持_実際	4 (2-5)	3 (3-5)	0.55
当直ができない医師の分娩取り扱い業務従事支持_意向	2 (2-3)	3 (2-3)	0.49
当直ができない医師の分娩取り扱い業務従事支持_実際	2 (2-3)	2 (2-4)	0.77

産科医師不足地域への異動政策支持_意向	5 (3-6)	5 (3-7)	0.14
産科医師不足地域への異動政策支持_実際	5 (3-6)	6 (3-7)	0.19

---



表 19. 分娩取り扱い業務への実際の従事や従事希望別のクロス集計

	従事あり		従事なし		p 値
	希望あり (n=172)	希望なし (n=12)	希望あり (n=9)	希望なし (n=16)	
年齢階級					
-39	61 (36%)	2 (22%)	3 (25%)	1 (6.2%)	0.12
40-49	40 (23%)	5 (42%)	4 (44%)	3 (19%)	
50-59	43 (25%)	4 (33%)	2 (22%)	8 (50%)	
60-	28 (16%)	0 (0%)	1 (11%)	4 (25%)	
性別					
男性	129 (75%)	8 (67%)	5 (56%)	9 (56%)	0.25
女性	43 (25%)	4 (33%)	4 (44%)	7 (44%)	
配偶者					
あり	142 (83%)	12 (100%)	7 (78%)	15 (94%)	0.26
なし	30 (17%)	0 (0%)	2 (22%)	1 (6.2%)	
子ども					
あり	131 (76%)	11 (92%)	6 (67%)	14 (88%)	0.38
なし	41 (24%)	1 (8.3%)	3 (33%)	2 (13%)	
分娩取扱件数					
0 件	0 (0%)	0 (0%)	7 (78%)	16 (100%)	<0.001
1~2 件	3 (1.7%)	1 (8.3%)	0 (0%)	0 (0%)	
3~5 件	28 (16%)	3 (25%)	1 (11%)	0 (0%)	
6~9 件	28 (16%)	4 (33%)	0 (0%)	0 (0%)	
10~19 件	63 (37%)	2 (17%)	1 (11%)	0 (0%)	
20~29 件	24 (14%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	
30~39 件	11 (6.4%)	1 (8.3%)	0 (0%)	0 (0%)	
40 件以上	15 (8.7%)	1 (8.3%)	0 (0%)	0 (0%)	
母体搬送受入					
あり	121 (70%)	7 (58%)	0 (0%)	2 (13%)	<0.001
なし	51 (30%)	5 (42%)	9 (100%)	14 (88%)	

主勤務先平均当直回数(回/月)	4 (3-7)	4 (2-6)	0 (0-2)	0 (0-0)	<0.001
兼業先平均当直回数(回/月)	0 (0-2)	0 (0-0)	0 (0-2)	0 (0-0)	0.049
交代制勤務					
あり	45 (26%)	2 (17%)	0 (0%)	0 (0%)	0.032
なし	127 (74%)	10 (83%)	9 (100%)	16 (100%)	
短時間正規雇用制度					
あり	76 (44%)	4 (33%)	3 (33%)	4 (25%)	0.41
なし	96 (56%)	8 (67%)	6 (67%)	12 (75%)	
主勤務先平均勤務時間(時間/週)	45 (40-60)	45 (36-50)	40 (32-45)	41 (35-55)	0.30
兼業先平均勤務時間(時間/週)	0 (0-7)	0 (0-6)	10 (0-21)	0 (0-2)	0.065
オンコール					
あり	141 (82%)	9 (75%)	2 (22%)	3 (19%)	<0.001
なし	31 (18%)	3 (25%)	7 (78%)	13 (81%)	
宅直					
あり	67 (39%)	4 (33%)	3 (33%)	2 (13%)	0.21
なし	105 (61%)	8 (67%)	6 (67%)	14 (88%)	
主たる勤務先					
総合周産期母子医療センター	33 (19%)	2 (17%)	0 (0%)	1 (6.2%)	<0.001
地域周産期母子医療センター	48 (28%)	5 (42%)	0 (0%)	0 (0%)	
その他の病院	61 (36%)	4 (33%)	3 (33%)	3 (19%)	
有床診療所	30 (17%)	1 (8.3%)	0 (0%)	0 (0%)	
無床診療所	0 (0%)	0 (0%)	6 (67%)	12 (75%)	
職階					
組織の長	37 (22%)	0 (0%)	1 (11%)	10 (63%)	<0.001
主任ではない部長・医長	51 (30%)	5 (42%)	3 (33%)	5 (31%)	
医員、医師 (常勤)	69 (40%)	5 (42%)	2 (22%)	1 (6.2%)	

医員、医師（非常勤）	14 (8.1%)	1 (8.3%)	3 (33%)	0 (0%)	
その他	1 (0.6%)	1 (8.3%)	0 (0%)	0 (0%)	
緩和なし	138 (80%)	5 (42%)	3 (33%)	6 (38%)	<0.001
当直減	14 (8.1%)	6 (50%)	0 (0%)	0 (0%)	<0.001
当直免除	12 (7%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (19%)	0.18
外来のみ	0 (0%)	1 (8.3%)	6 (67%)	7 (44%)	<0.001
40時間未満の時短勤務	6 (3.5%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (6.2%)	0.76
専門医取得状況					
取得前	17 (9.9%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0.081
5年未満	29 (17%)	1 (8.3%)	3 (33%)	0 (0%)	
5~10年未満	24 (14%)	4 (33%)	0 (0%)	1 (6.2%)	
10~15年未満	12 (7%)	1 (8.3%)	2 (22%)	1 (6.2%)	
15~20年未満	20 (12%)	3 (25%)	1 (11%)	2 (13%)	
20年以上	70 (41%)	3 (25%)	3 (33%)	12 (75%)	
集約化を支持_自身	2 (2-3)	2 (2-4)	1 (1-2)	2 (1-3)	0.018
集約化を支持_同性同世代	2 (2-3)	2 (2-4)	1 (1-2)	2 (1-3)	0.069
妊産婦の議論参加支持_自身	3 (2-4)	4 (2-4)	2 (1-2)	3 (2-4)	0.020
妊産婦の議論参加支持_同性同世代	3 (2-4)	3 (2-4)	2 (2-2)	3 (2-4)	0.047
当直ができない医師の分娩取り扱い業務従事支持_自身	2 (2-3)	3 (2-5)	2 (2-2)	3 (1-3)	0.53
当直ができない医師の分娩取り扱い業務従事支持_同性同世代	2 (2-3)	3 (2-3)	2 (2-3)	3 (2-4)	0.73
産科医師不足地域への異動政策支持_自身	3 (2-5)	5 (4-6)	3 (2-4)	3 (3-4)	0.33
産科医師不足地域への異動政策支持_同性同世代	4 (3-5)	5 (4-6)	3 (3-4)	3 (3-4)	0.10
集約化を支持_意向	3 (2-4)	4 (2-5)	4 (3-4)	3 (2-4)	0.87
集約化を支持_実際	3 (2-5)	3 (3-4)	4 (3-5)	4 (3-4)	0.66
妊産婦の議論参加支持_意向	3 (2-4)	4 (3-5)	2 (2-4)	4 (3-4)	0.15
妊産婦の議論参加支持_実際	3 (2-5)	4 (4-5)	3 (2-4)	4 (3-4)	0.23
当直ができない医師の分娩取り扱い業務従事支持_意向	2 (2-3)		5 (2-5)		0.16

当直ができない医師の分娩取り扱い業務従事支持_実際	2 (2-3)		5 (2-5)		0.17
産科医師不足地域への異動政策支持_意向	5 (3-6)	6 (4-7)	4 (3-6)	6 (4-7)	0.14
産科医師不足地域への異動政策支持_実際	5 (3-6)	6 (4-7)	4 (4-6)	6 (4-7)	0.18

---

表 20. 所属施設の種類のクロス集計

	総合周産 期母子医 療センタ ー (n=36)	地域周産 期母子医 療センタ ー (n=53)	その他の 病院 (n=71)	有床診療 所 (n=31)	無床診療 所 (n=18)	p 値
年齢階級						
-39	22 (61%)	18 (34%)	21 (30%)	4 (13%)	2 (11%)	<0.001
40-49	9 (25%)	20 (38%)	15 (21%)	3 (10%)	5 (28%)	
50-59	3 (8%)	10 (19%)	23 (32%)	15 (48%)	6 (33%)	
60-	2 (6%)	5 (9%)	12 (17%)	9 (29%)	5 (28%)	
性別						
男性	23 (64%)	41 (77%)	52 (73%)	27 (87%)	8 (44%)	0.015
女性	13 (36%)	12 (23%)	19 (27%)	4 (13%)	10 (56%)	
配偶者						
あり	28 (78%)	45 (85%)	58 (82%)	28 (90%)	17 (94%)	0.44
なし	8 (22%)	8 (15%)	13 (18%)	3 (10%)	1 (6%)	
分娩取り扱い業務						
従事あり						
希望あり	33 (92%)	48 (91%)	61 (86%)	30 (97%)	0 (0%)	<0.001
希望なし	2 (6%)	5 (9%)	4 (6%)	1 (3%)	0 (0%)	
従事なし						
希望あり	0 (0%)	0 (0%)	3 (4%)	0 (0%)	6 (33%)	
希望なし	1 (3%)	0 (0%)	3 (4%)	0 (0%)	12 (67%)	
子ども						
あり	23 (64%)	42 (79%)	55 (77%)	27 (87%)	15 (83%)	0.21
なし	13 (36%)	11 (21%)	16 (23%)	4 (13%)	3 (17%)	
分娩取扱件数						
0 件	1 (3%)	0 (0%)	6 (8%)	0 (0%)	16 (89%)	<0.001
1~2 件	2 (6%)	0 (0%)	1 (1%)	1 (3%)	0 (0%)	
3~5 件	7 (19%)	5 (9%)	17 (24%)	2 (6%)	1 (6%)	

6~9 件	4 (11%)	12 (23%)	12 (17%)	4 (13%)	0 (0%)	
10~19 件	14 (39%)	19 (36%)	20 (28%)	12 (39%)	1 (6%)	
20~29 件	4 (11%)	7 (13%)	7 (10%)	6 (19%)	0 (0%)	
30~39 件	1 (3%)	4 (8%)	3 (4%)	4 (13%)	0 (0%)	
40 件以上	3 (8%)	6 (11%)	5 (7%)	2 (6%)	0 (0%)	
母体搬送受入						
あり	36 (100%)	52 (98%)	36 (51%)	5 (16%)	1 (6%)	<0.001
なし	0 (0%)	1 (2%)	35 (49%)	26 (84%)	17 (94%)	
主勤務先平均当直回数(回/月)						
	4 (3-5)	5 (2-6)	4 (2-6)	9 (3-15)	0 (0-0)	<0.001
兼業先平均当直回数(回/月)						
	1 (0-4)	0 (0-1)	0 (0-1)	0 (0-0)	0 (0-0)	0.005
交代制勤務						
あり	11 (31%)	14 (26%)	15 (21%)	7 (23%)	0 (0%)	0.13
なし	25 (69%)	39 (74%)	56 (79%)	24 (77%)	18 (100%)	
短時間正規雇用制度						
あり	22 (61%)	27 (51%)	29 (41%)	5 (16%)	4 (22%)	<0.001
なし	14 (39%)	26 (49%)	42 (59%)	26 (84%)	14 (78%)	
主勤務先平均勤務時間(時間/週)						
	45 (40-52)	50 (40-60)	45 (40-60)	44 (28-52)	40 (30-50)	0.094
兼業先平均勤務時間(時間/週)						
	4 (0-19)	0 (0-5)	0 (0-7)	0 (0-4)	0 (0-8)	0.033
オンコール						
あり	28 (78%)	45 (85%)	62 (87%)	18 (58%)	2 (11%)	<0.001
なし	8 (22%)	8 (15%)	9 (13%)	13 (42%)	16 (89%)	
宅直						
あり	4 (11%)	20 (38%)	36 (51%)	14 (45%)	2 (11%)	<0.001
なし	32 (89%)	33 (62%)	35 (49%)	17 (55%)	16 (89%)	

職階						
組織の長	1 (3%)	10 (19%)	13 (18%)	14 (45%)	10 (56%)	<0.001
主任ではない部長・ 医長	8 (22%)	21 (40%)	27 (38%)	5 (16%)	3 (17%)	
医員、医師（常勤）	20 (56%)	21 (40%)	26 (37%)	8 (26%)	2 (11%)	
医員、医師（非常勤）	7 (19%)	1 (2%)	3 (4%)	4 (13%)	3 (17%)	
その他	0 (0%)	0 (0%)	2 (3%)	0 (0%)	0 (0%)	
緩和なし						
当直減	27 (75%)	37 (70%)	60 (85%)	23 (74%)	5 (28%)	<0.001
当直免除	5 (14%)	6 (11%)	6 (8%)	3 (10%)	0 (0%)	0.56
外来のみ	1 (3%)	9 (17%)	4 (6%)	1 (3%)	0 (0%)	0.026
40 時間未満の時短勤務	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (3%)	13 (72%)	<0.001
	1 (3%)	2 (4%)	1 (1%)	2 (6%)	1 (6%)	0.72
専門医取得状況						
取得前	9 (25%)	4 (8%)	4 (6%)	0 (0%)	0 (0%)	<0.001
5 年未満	8 (22%)	11 (21%)	11 (15%)	1 (3%)	2 (11%)	
5~10 年未満	7 (19%)	6 (11%)	11 (15%)	4 (13%)	1 (6%)	
10~15 年未満	3 (8%)	6 (11%)	6 (8%)	0 (0%)	1 (6%)	
15~20 年未満	4 (11%)	9 (17%)	8 (11%)	2 (6%)	3 (17%)	
20 年以上	5 (14%)	17 (32%)	31 (44%)	24 (77%)	11 (61%)	
集約化を支持_自身	2 (2-3)	2 (2-3)	2 (1-3)	3 (2-5)	1 (1-2)	0.002
集約化を支持_同性同世代	2 (2-3)	2 (2-3)	2 (2-3)	3 (2-4)	2 (1-3)	0.040
妊産婦の議論参加支持_自 身	3 (2-4)	3 (2-3)	3 (2-4)	3 (2-5)	2 (1-3)	0.68
妊産婦の議論参加支持_同 性同世代	3 (2-4)	3 (2-4)	3 (2-4)	3 (2-4)	2 (1-4)	0.57
当直ができない医師の分娩 取り扱い業務従事支持_自 身	2 (2-3)	2 (1-3)	2 (2-3)	2 (1-3)	2 (1-3)	0.50
当直ができない医師の分娩 取り扱い業務従事支持_同 性同世代	2 (2-3)	2 (2-3)	3 (2-3)	2 (1-3)	2 (1-3)	0.29
産科医師不足地域への異動	4 (2-4)	3 (2-4)	4 (3-5)	4 (3-6)	3 (2-4)	0.13

政策支持_自身						
産科医師不足地域への異動 政策支持_同性同世代	4 (2-5)	4 (3-5)	4 (3-5)	4 (3-5)	3 (3-4)	0.25
集約化を支持_意向	3 (2-4)	3 (2-4)	3 (2-4)	4 (3-6)	3 (3-4)	0.063
集約化を支持_実際	3 (2-4)	3 (2-4)	3 (2-4)	4 (3-6)	4 (3-4)	0.048
妊産婦の議論参加支持_意 向	3 (2-4)	4 (2-4)	3 (3-5)	4 (2-6)	4 (2-4)	0.85
妊産婦の議論参加支持_実 際	3 (3-5)	4 (2-4)	3 (3-5)	4 (2-6)	4 (2-4)	0.87
当直ができない医師の分娩 取り扱い業務従事支持_意 向	3 (2-3)	2 (2-2)	2 (1-5)	3 (3-3)	4 (2-5)	0.82
当直ができない医師の分娩 取り扱い業務従事支持_実 際	2 (1-3)	2 (2-3)	2 (2-5)	3 (3-3)	4 (2-5)	0.55
産科医師不足地域への異動 政策支持_意向	5 (3-6)	5 (3-6)	5 (3-6)	5 (4-7)	5 (4-7)	0.68
産科医師不足地域への異動 政策支持_実際	5 (3-6)	5 (3-6)	5 (4-7)	6 (4-7)	6 (4-7)	0.30

---



表 21. 配偶者の有無別のクロス集計

	従事あり (n=176)	従事なし (n=33)	p 値
年齢階級			
-39	47 (27%)	20 (61%)	<0.001
40-49	48 (27%)	4 (12%)	
50-59	48 (27%)	9 (27%)	
60-	33 (19%)	0 (0%)	
性別			
男性	133 (76%)	18 (55%)	0.013
女性	43 (24%)	15 (46%)	
子ども			
あり	157 (89%)	5 (15%)	<0.001
なし	19 (11%)	28 (85%)	
分娩取り扱い業務			
従事あり			0.26
希望あり	142 (81%)	30 (91%)	
希望なし	12 (6.8%)	0 (0%)	
従事なし			
希望あり	7 (4%)	2 (6.1%)	
希望なし	15 (8.5%)	1 (3%)	
分娩取扱件数			
0 件	20 (11%)	3 (9.1%)	0.68
1~2 件	3 (1.7%)	1 (3%)	
3~5 件	27 (15%)	5 (15%)	
6~9 件	27 (15%)	5 (15%)	
10~19 件	55 (31%)	11 (33%)	
20~29 件	22 (13%)	2 (6.1%)	
30~39 件	11 (6.2%)	1 (3%)	
40 件以上	11 (6.2%)	5 (15%)	

母体搬送受入

あり	108 (61%)	22 (67%)	0.56
なし	68 (39%)	11 (33%)	
主勤務先平均当直回数(回/月)	4 (1-6)	4 (2-6)	0.95
兼業先平均当直回数(回/月)	0 (0-1)	0 (0-1)	0.84
交代制勤務			
あり	43 (24%)	4 (12%)	0.12
なし	133 (76%)	29 (88%)	
短時間正規雇用制度			
あり	73 (42%)	14 (42%)	0.92
なし	103 (59%)	19 (58%)	
主勤務先平均勤務時間(時間/週)	45 (40-55)	45 (37-60)	0.60
兼業先平均勤務時間(時間/週)	0 (0-7)	0 (0-6)	0.96
オンコール			
あり	130 (74%)	25 (76%)	0.82
なし	46 (26%)	8 (24%)	
宅直			
あり	67 (38%)	9 (27%)	0.24
なし	109 (62%)	24 (73%)	
主たる勤務先			
総合周産期母子医療センター	28 (16%)	8 (24%)	0.44
地域周産期母子医療センター	45 (26%)	8 (24%)	
その他の病院	58 (33%)	13 (39%)	
有床診療所	28 (16%)	3 (9.1%)	
無床診療所	17 (9.7%)	1 (3%)	
職階			
組織の長	45 (26%)	3 (9.1%)	0.004
主任ではない部長・医長	59 (34%)	5 (15%)	
医員、医師（常勤）	58 (33%)	19 (58%)	
医員、医師（非常勤）	12 (6.8%)	6 (18%)	

その他	2 (1.1%)	0 (0%)	
緩和なし	123 (70%)	29 (88%)	0.033
当直減	20 (11%)	0 (0%)	0.042
当直免除	13 (7.4%)	2 (6.1%)	0.79
外来のみ	13 (7.4%)	1 (3%)	0.36
40 時間未満の時短勤務	6 (3.4%)	1 (3%)	0.91
専門医取得状況			
取得前	8 (4.5%)	9 (27%)	<0.001
5 年未満	26 (15%)	7 (21%)	
5～10 年未満	24 (14%)	5 (15%)	
10～15 年未満	15 (8.5%)	1 (3%)	
15～20 年未満	23 (13%)	3 (9.1%)	
20 年以上	80 (46%)	8 (24%)	
集約化を支持_自身	2 (1-3)	2 (2-3)	0.74
集約化を支持_同性同世代	2 (2-3)	2 (2-3)	0.37
妊産婦の議論参加支持_自身	3 (2-4)	3 (2-3)	0.49
妊産婦の議論参加支持_同性同世代	3 (2-4)	3 (2-3)	0.54
当直ができない医師の分娩取り扱い業務従事支持_自身	2 (1-3)	2 (2-3)	0.54
当直ができない医師の分娩取り扱い業務従事支持_同性同世代	2 (2-3)	2 (2-3)	0.48
産科医師不足地域への異動政策支持_自身	4 (2-5)	3 (2-5)	0.62
産科医師不足地域への異動政策支持_同性同世代	4 (3-5)	4 (3-5)	0.99
集約化を支持_意向	3 (2-4)	3 (2-5)	0.48
集約化を支持_実際	3 (2-4)	3 (2-5)	0.50
妊産婦の議論参加支持_意向	3 (2-4)	4 (2-4)	0.89
妊産婦の議論参加支持_実際	3 (3-5)	4 (3-4)	0.91
当直ができない医師の分娩取り扱い業務従事支持_意向	2 (2-3)	2 (2-4)	0.43
当直ができない医師の分娩取り扱い業務従事支持_実際	2 (2-3)	2 (2-4)	0.42
産科医師不足地域への異動政策支持_意向	5 (3-7)	4 (3-5)	0.068
産科医師不足地域への異動政策支持_実際	5 (4-7)	4 (3-6)	0.082

表 22. 子どもの有無別のクロス集計

		あり (n=162)	なし (n=47)	p 値		
年齢階級	-39	37 (23%)	30 (64%)	<0.001		
	40-49	46 (28%)	6 (13%)			
	50-59	50 (31%)	7 (15%)			
	60-	29 (18%)	4 (8.5%)			
性別	男性	124 (77%)	27 (57%)	0.01		
	女性	38 (24%)	20 (43%)			
配偶者	あり	157 (97%)	19 (40%)	<0.001		
	なし	5 (3.1%)	28 (60%)			
分娩取り扱い業務	従事あり	希望あり	131 (81%)	41 (87%)	0.38	
		希望なし	11 (6.8%)			1 (2.1%)
	従事なし	希望あり	6 (3.7%)	3 (6.4%)		
		希望なし	14 (8.6%)	2 (4.3%)		
	分娩取扱件数	0 件	18 (11%)	5 (11%)		0.66
		1~2 件	2 (1.2%)	2 (4.3%)		
3~5 件		25 (15%)	7 (15%)			
6~9 件		26 (16%)	6 (13%)			
10~19 件		49 (30%)	17 (36%)			
20~29 件		20 (12%)	4 (8.5%)			
30~39 件		11 (6.8%)	1 (2.1%)			
40 件以上		11 (6.8%)	5 (11%)			
母体搬送受入						

	あり	98 (61%)	32 (68%)	0.34
	なし	64 (40%)	15 (32%)	
主勤務先平均当直回数(回/月)				
		4 (0-6)	5 (3-6)	0.15
兼業先平均当直回数(回/月)				
		0 (0-1)	0 (0-2)	0.46
交代制勤務				
	あり	38 (24%)	9 (19%)	0.53
	なし	124 (77%)	38 (81%)	
短時間正規雇用制度				
	あり	67 (41%)	20 (43%)	0.88
	なし	95 (59%)	27 (57%)	
主勤務先平均勤務時間(時間/週)				
		45 (40-55)	50 (40-60)	0.16
兼業先平均勤務時間(時間/週)				
		0 (0-7)	0 (0-6)	0.66
オンコール				
	あり	121 (75%)	34 (72%)	0.75
	なし	41 (25%)	13 (28%)	
宅直				
	あり	66 (41%)	10 (21%)	0.015
	なし	96 (59%)	37 (79%)	
主たる勤務先				
	総合周産期母子医療センター	23 (14%)	13 (28%)	0.21
	地域周産期母子医療センター	42 (26%)	11 (23%)	
	その他の病院	55 (34%)	16 (34%)	
	有床診療所	27 (17%)	4 (8.5%)	
	無床診療所	15 (9.3%)	3 (6.4%)	
職階				
	組織の長	43 (27%)	5 (11%)	<0.001
	主任ではない部長・医長	58 (36%)	6 (13%)	
	医員、医師 (常勤)	48 (30%)	29 (62%)	

	医員、医師（非常勤）	12 (7.4%)	6 (13%)	
	その他	1 (0.6%)	1 (2.1%)	
緩和なし		110 (68%)	42 (89%)	0.004
当直減		19 (12%)	1 (2.1%)	0.049
当直免除		14 (8.6%)	1 (2.1%)	0.13
外来のみ		11 (6.8%)	3 (6.4%)	0.92
40 時間未満の時短勤務		7 (4.3%)	0 (0%)	0.15
専門医取得状況				
	取得前	3 (1.9%)	14 (30%)	<0.001
	5 年未満	20 (12%)	13 (28%)	
	5~10 年未満	24 (15%)	5 (11%)	
	10~15 年未満	15 (9.3%)	1 (2.1%)	
	15~20 年未満	21 (13%)	5 (11%)	
	20 年以上	79 (49%)	9 (19%)	
集約化を支持_自身		2 (2-3)	2 (1-3)	0.83
集約化を支持_同性同世代		2 (2-3)	2 (2-3)	0.72
妊産婦の議論参加支持_自身		3 (2-4)	3 (2-3)	0.44
妊産婦の議論参加支持_同性同世代		3 (2-4)	3 (2-4)	0.72
当直ができない医師の分娩取り扱い業務従事支持_自身		2 (1-3)	2 (1-3)	0.77
当直ができない医師の分娩取り扱い業務従事支持_同性同世代		2 (2-3)	2 (2-3)	0.96
産科医師不足地域への異動政策支持_自身		4 (2-5)	3 (2-5)	0.87
産科医師不足地域への異動政策支持_同性同世代		4 (3-5)	4 (3-5)	0.61
集約化を支持_意向		3 (2-4)	3 (2-4)	0.76
集約化を支持_実際		3 (2-4)	3 (2-5)	0.85
妊産婦の議論参加支持_意向		4 (3-4)	3 (2-4)	0.38
妊産婦の議論参加支持_実際		4 (3-5)	3 (2-4)	0.23
当直ができない医師の分娩取り扱い業務従事支持_意向			2 (2-3)	
当直ができない医師の分娩取り扱い業務従事支持_実際			2 (2-3)	
産科医師不足地域への異動政策支持_意向		5 (4-6)	4 (3-6)	0.19
産科医師不足地域への異動政策支持_実際		5 (4-7)	4 (3-6)	0.067

表 23. 職階別のクロス集計

	組織の長 (n=48)	主任では ない部 長・医長 (n=64)	医員、医 師（常 勤） (n=77)	医員、医 師（非常 勤） (n=18)	その他 (n=2)	p 値
年齢階級						
-39	0 (0%)	8 (12%)	50 (65%)	9 (50%)	0 (0%)	<0.001
40-49	5 (10%)	32 (50%)	12 (16%)	3 (17%)	0 (0%)	
50-59	21 (44%)	17 (27%)	12 (16%)	6 (33%)	1 (50%)	
60-	22 (46%)	7 (11%)	3 (4%)	0 (0%)	1 (50%)	
性別						
男性	42 (88%)	53 (83%)	45 (58%)	9 (50%)	2 (100%)	<0.001
女性	6 (12%)	11 (17%)	32 (42%)	9 (50%)	0 (0%)	
配偶者						
あり	45 (94%)	59 (92%)	58 (75%)	12 (67%)	2 (100%)	0.004
なし	3 (6%)	5 (8%)	19 (25%)	6 (33%)	0 (0%)	
分娩取り扱い業務						
従事あり						
希望あり	37 (77%)	51 (80%)	69 (90%)	14 (78%)	1 (50%)	<0.001
希望なし	0 (0%)	5 (8%)	5 (6%)	1(6%)	1 (50%)	
従事なし						
希望あり	1 (2%)	3 (5%)	2 (3%)	3 (17%)	0 (0%)	
希望なし	10 (21%)	5 (8%)	1 (1%)	0 (0%)	0 (0%)	
子ども						
あり	43 (90%)	58 (91%)	48 (62%)	12 (67%)	1 (50%)	<0.001
なし	5 (10%)	6 (9%)	29 (38%)	6 (33%)	1 (50%)	
分娩取扱件数						
0 件	10 (21%)	7 (11%)	3 (4%)	3 (17%)	0 (0%)	0.027
1～2 件	0 (0%)	0 (0%)	1 (1%)	3 (17%)	0 (0%)	
3～5 件	7 (15%)	10 (16%)	11 (14%)	3 (17%)	1 (50%)	
6～9 件	4 (8%)	13 (20%)	12 (16%)	2 (11%)	1 (50%)	
10～19 件	15 (31%)	18 (28%)	29 (38%)	4 (22%)	0 (0%)	

20~29 件	6 (12%)	9 (14%)	8 (10%)	1 (6%)	0 (0%)	
30~39 件	4 (8%)	2 (3%)	5 (6%)	1 (6%)	0 (0%)	
40 件以上	2 (4%)	5 (8%)	8 (10%)	1 (6%)	0 (0%)	
母体搬送受入						
あり	19 (40%)	47 (73%)	54 (70%)	10 (56%)	0 (0%)	<0.001
なし	29 (60%)	17 (27%)	23 (30%)	8 (44%)	2 (100%)	
主勤務先平均当直回数(回/月)	2 (0-8)	4 (2-6)	4 (3-6)	4 (0-4)	10 (4-15)	0.064
兼業先平均当直回数(回/月)	0 (0-0)	0 (0-2)	0 (0-2)	0 (0-3)	0 (0-0)	0.002
交代制勤務						
あり	8 (17%)	16 (25%)	19 (25%)	3 (17%)	1 (50%)	0.63
なし	40 (83%)	48 (75%)	58 (75%)	15 (83%)	1 (50%)	
短時間正規雇用制度						
あり	14 (29%)	27 (42%)	43 (56%)	3 (17%)	0 (0%)	0.004
なし	34 (71%)	37 (58%)	34 (44%)	15 (83%)	2 (100%)	
主勤務先平均勤務時間(時間/週)	50 (40-58)	45 (40-55)	45 (40-60)	30 (14-50)	28 (12-44)	0.016
兼業先平均勤務時間(時間/週)	0 (0-0)	0 (0-8)	0 (0-6)	9 (0-12)	0 (0-0)	0.001
オンコール						
あり	33 (69%)	52 (81%)	60 (78%)	8 (44%)	2 (100%)	0.018
なし	15 (31%)	12 (19%)	17 (22%)	10 (56%)	0 (0%)	
宅直						
あり	27 (56%)	25 (39%)	20 (26%)	3 (17%)	1 (50%)	0.004
なし	21 (44%)	39 (61%)	57 (74%)	15 (83%)	1 (50%)	
主たる勤務先						
総合周産期母子医療センター	1 (2%)	8 (12%)	20 (26%)	7 (39%)	0 (0%)	<0.001
地域周産期母子医療センター	10 (21%)	21 (33%)	21 (27%)	1 (6%)	0 (0%)	



その他の病院	13 (27%)	27 (42%)	26 (34%)	3 (17%)	2 (100%)	
有床診療所	14 (29%)	5 (8%)	8 (10%)	4 (22%)	0 (0%)	
無床診療所	10 (21%)	3 (5%)	2 (3%)	3 (17%)	0 (0%)	
緩和なし	33 (69%)	48 (75%)	61 (79%)	9 (50%)	1 (50%)	0.12
当直減	1 (2%)	8 (12%)	9 (12%)	1 (6%)	1 (50%)	0.083
当直免除	6 (12%)	5 (8%)	4 (5%)	0 (0%)	0 (0%)	0.40
外来のみ	7 (15%)	2 (3%)	1 (1%)	4 (22%)	0 (0%)	0.002
40 時間未満の時短勤務	1 (2%)	1 (2%)	2 (3%)	3 (17%)	0 (0%)	0.027
専門医取得状況						
取得前	0 (0%)	0 (0%)	14 (18%)	3 (17%)	0 (0%)	<0.001
5 年未満	0 (0%)	3 (5%)	24 (31%)	6 (33%)	0 (0%)	
5~10 年未満	0 (0%)	10 (16%)	17 (22%)	2 (11%)	0 (0%)	
10~15 年未満	0 (0%)	12 (19%)	3 (4%)	1 (6%)	0 (0%)	
15~20 年未満	3 (6%)	14 (22%)	6 (8%)	2 (11%)	1 (50%)	
20 年以上	45 (94%)	25 (39%)	13 (17%)	4 (22%)	1 (50%)	
集約化を支持_自身	2 (2-4)	2 (2-3)	2 (2-3)	1 (1-3)	3 (3-3)	0.33
集約化を支持_同性同世代	2 (2-3)	2 (2-3)	2 (2-3)	2 (2-3)	3 (3-3)	0.41
妊産婦の議論参加支持_自身	2 (2-4)	3 (2-4)	3 (2-4)	2 (2-4)	2 (2-3)	0.61
妊産婦の議論参加支持_同性同世代	3 (2-4)	3 (2-4)	3 (2-4)	3 (2-4)	2 (2-3)	0.51
当直ができない医師の分娩取り扱い業務従事支持_自身	2 (1-3)	2 (2-3)	2 (2-3)	2 (1-3)	2 (1-2)	0.60
当直ができない医師の分娩取り扱い業務従事支持_同性同世代	2 (2-3)	3 (2-3)	2 (2-3)	2 (1-3)	2 (1-2)	0.18
産科医師不足地域への異動政策支持_自身	3 (2-5)	4 (3-5)	3 (2-5)	4 (2-5)	4 (3-5)	0.90
産科医師不足地域への異動政策支持_同性同世代	3 (2-4)	4 (3-5)	4 (3-5)	4 (2-5)	4 (2-6)	0.47
集約化を支持_意向	3 (2-4)	3 (2-4)	3 (2-5)	3 (2-5)	4 (2-5)	0.92
集約化を支持_実際	3 (2-4)	3 (2-4)	3 (2-5)	4 (2-5)	3 (2-4)	0.96
妊産婦の議論参加支持_意向	3 (2-4)	4 (3-5)	3 (3-4)	3 (2-5)	4 (3-5)	0.21
妊産婦の議論参加支持_実際	3 (2-4)	4 (3-4)	3 (3-5)	3 (2-6)	3 (2-4)	0.49

当直ができない医師の分娩取 り扱い業務従事支持_意向		3 (1-5)	2 (2-3)	2 (2-4)		0.94
当直ができない医師の分娩取 り扱い業務従事支持_実際		4 (2-5)	2 (2-3)	2 (1-4)		0.43
産科医師不足地域への異動政 策支持_意向	5 (4-7)	5 (4-6)	5 (3-7)	5 (3-6)	7 (7-7)	0.31
産科医師不足地域への異動政 策支持_実際	5 (4-7)	4 (4-6)	5 (3-7)	4 (3-6)	7 (7-7)	0.21

表 4. 専門医取得状況別のクロス集計

	取得前 (n=17)	5年未満 (n=33)	5~10 年未満 (n=29)	10~15 年未満 (n=16)	15~20 年未満 (n=26)	20年以 上 (n=88)	Total (n=209)	p 値
年齢階級								
-39	17 (100%)	31 (94%)	19 (66%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	67 (32%)	<0.001
40-49	0 (0%)	1 (3%)	7 (24%)	16 (100%)	22 (85%)	6 (6.8%)	52 (25%)	
50-59	0 (0%)	0 (0%)	3 (10%)	0 (0%)	2 (7.7%)	52 (59%)	57 (27%)	
60-	0 (0%)	1 (3%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (7.7%)	30 (34%)	33 (16%)	
性別								
男性	11 (65%)	20 (61%)	15 (52%)	10 (63%)	19 (73%)	76 (86%)	151 (72%)	0.003
女性	6 (35%)	13 (39%)	14 (48%)	6 (38%)	7 (27%)	12 (14%)	58 (28%)	
配偶者								
あり	8 (47%)	26 (79%)	24 (83%)	15 (94%)	23 (89%)	80 (91%)	176 (84%)	<0.001
なし	9 (53%)	7 (21%)	5 (17%)	1 (6.2%)	3 (12%)	8 (9.1%)	33 (16%)	
分娩取り扱い業務								
従事あり	希望 17 (100%)	29 (88%)	24 (83%)	12 (75%)	20 (77%)	70 (80%)	172 (82%)	0.081
希望 なし	0 (0%)	1 (3%)	4 (14%)	1 (6.2%)	3 (12%)	3 (3.4%)	12 (5.7%)	
従事なし								

し								
希望あり	0 (0%)	3 (9.1%)	0 (0%)	2 (13%)	1 (3.8%)	3 (3.4%)	9 (4.3%)	
希望なし	0 (0%)	0 (0%)	1 (3.4%)	1 (6.2%)	2 (7.7%)	12 (14%)	16 (7.7%)	
子ども								
あり	3 (18%)	20 (61%)	24 (83%)	15 (94%)	21 (81%)	79 (90%)	162 (78%)	<0.001
なし	14 (82%)	13 (39%)	5 (17%)	1 (6.2%)	5 (19%)	9 (10%)	47 (23%)	
分娩取扱件数								
0件	0 (0%)	3 (9%)	1 (3%)	3 (19%)	2 (7.7%)	14 (16%)	23 (11%)	0.046
1~2件	0 (0%)	1 (3%)	1 (3.4%)	0 (0%)	2 (7.7%)	0 (0%)	4 (1.9%)	
3~5件	1 (5.9%)	6 (18%)	7 (24%)	4 (25%)	3 (12%)	11 (13%)	32 (15%)	
6~9件	1 (5.9%)	5 (15%)	8 (28%)	5 (31%)	6 (23%)	7 (8%)	32 (15%)	
10~19件	9 (53%)	14 (42%)	7 (24%)	1 (6.2%)	6 (23%)	29 (33%)	66 (32%)	
20~29件	3 (18%)	0 (0%)	3 (10%)	2 (13%)	3 (12%)	13 (15%)	24 (12%)	
30~39件	0 (0%)	3 (9.1%)	1 (3.4%)	1 (6.2%)	1 (3.8%)	6 (6.8%)	12 (5.7%)	
40件以上	3 (18%)	1 (3%)	1 (3.4%)	0 (0%)	3 (12%)	8 (9.1%)	16 (7.7%)	
母体搬送受入								
あり	16	23	18	13	17	43	130	0.004

	(94%)	(70%)	(62%)	(81%)	(65%)	(49%)	(62%)	
なし	1 (5.9%)	10 (30%)	11 (38%)	3 (19%)	9 (35%)	45 (51%)	79 (38%)	
主勤務先平均								
当直回数(回/月)	5 (4-6)	4 (3-5)	4 (2-6)	2 (2-4)	4 (1-7)	4 (0-8)	4 (1-6)	0.58
兼業先平均当直回数(回/月)	0 (0-2)	0 (0-2)	0 (0-2)	0 (0-4)	0 (0-4)	0 (0-0)	0 (0-1)	0.003
交代制勤務								
あり	6 (35%)	6 (18%)	9 (31%)	4 (25%)	3 (12%)	19 (22%)	47 (23%)	0.41
なし	11 (65%)	27 (82%)	20 (69%)	12 (75%)	23 (89%)	69 (78%)	162 (78%)	
短時間正規雇用制度								
あり	12 (71%)	14 (42%)	20 (69%)	9 (56%)	8 (31%)	24 (27%)	87 (42%)	<0.001
なし	5 (29%)	19 (58%)	9 (31%)	7 (44%)	18 (69%)	64 (73%)	122 (58%)	
主勤務先平均勤務時間(時間/週)	60 (50-70)	45 (35-60)	40 (36-50)	45 (40-58)	45 (40-60)	45 (40-55)	45 (40-58)	0.027
兼業先平均勤務時間(時間/週)	0 (0-16)	2 (0-8)	4 (0-8)	0 (0-20)	0 (0-8)	0 (0-3)	0 (0-6)	0.058
オンコール								
あり	12 (71%)	27 (82%)	20 (69%)	13 (81%)	23 (89%)	60 (68%)	155 (74%)	0.27
なし	5 (29%)	6 (18%)	9 (31%)	3 (19%)	3 (12%)	28 (32%)	54 (26%)	

宅直

あり	1 (5.9%)	9 (27%)	7 (24%)	5 (31%)	9 (35%)	45 (51%)	76 (36%)	0.002
なし	16 (94%)	24 (73%)	22 (76%)	11 (69%)	17 (65%)	43 (49%)	133 (64%)	

主たる勤務先

総合周産期母子医療センター	9 (53%)	8 (24%)	7 (24%)	3 (19%)	4 (15%)	5 (5.7%)	36 (17%)	<0.001
地域周産期母子医療センター	4 (24%)	11 (33%)	6 (21%)	6 (38%)	9 (35%)	17 (19%)	53 (25%)	
その他の病院	4 (24%)	11 (33%)	11 (38%)	6 (38%)	8 (31%)	31 (35%)	71 (34%)	
有床診療所	0 (0%)	1 (3%)	4 (14%)	0 (0%)	2 (7.7%)	24 (27%)	31 (15%)	
無床診療所	0 (0%)	2 (6.1%)	1 (3.4%)	1 (6.2%)	3 (12%)	11 (13%)	18 (8.6%)	

職階

組織の長	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (12%)	45 (51%)	48 (23%)	<0.001
主任ではない 部長・医 長	0 (0%)	3 (9%)	10 (35%)	12 (75%)	14 (54%)	25 (28%)	64 (31%)	
医員、医 師（常 勤）	14 (82%)	24 (73%)	17 (59%)	3 (19%)	6 (23%)	13 (15%)	77 (37%)	
医員、医	3 (18%)	6 (18%)	2	1	2	4	18	

師（非常勤）			(6.9%)	(6.2%)	(7.7%)	(4.5%)	(8.6%)	
その他	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (3.8%)	1 (1.1%)	2 (1%)	
緩和なし	16 (94%)	26 (79%)	22 (76%)	10 (63%)	22 (85%)	56 (64%)	152 (73%)	0.051
当直減	0 (0%)	2 (6.1%)	4 (14%)	4 (25%)	1 (3.8%)	9 (10%)	20 (9.6%)	0.14
当直免除	1 (5.9%)	1 (3%)	1 (3.4%)	1 (6.2%)	1 (3.8%)	10 (11%)	15 (7.2%)	0.51
外来のみ	0 (0%)	2 (6.1%)	1 (3.4%)	1 (6.2%)	1 (3.8%)	9 (10%)	14 (6.7%)	0.57
40 時間未満の時短勤務	0 (0%)	1 (3%)	1 (3.4%)	1 (6.2%)	1 (3.8%)	3 (3.4%)	7 (3.3%)	0.96
集約化を支持_自身	2 (1-3)	2 (1-3)	2 (1-3)	2 (1-3)	2 (2-3)	2 (2-4)	2 (1-3)	0.38
集約化を支持_同性同世代	2 (2-3)	2 (1-3)	2 (2-3)	2 (2-3)	2 (2-3)	2 (2-3)	2 (2-3)	0.79
妊産婦の議論参加支持_自身	3 (2-4)	2 (2-3)	3 (3-4)	3 (2-4)	3 (2-4)	3 (2-4)	3 (2-4)	0.50
妊産婦の議論参加支持_同性同世代	3 (2-3)	3 (2-3)	3 (2-3)	3 (2-4)	3 (2-4)	3 (2-4)	3 (2-4)	0.87
当直ができない医師の分娩取り扱い業務従事支持_自身	2 (1-3)	2 (1-3)	2 (1-3)	2 (1-3)	2 (2-3)	2 (2-3)	2 (1-3)	0.12
当直ができない医師の分娩取り扱い業務従事支持_同性同世代	2 (2-3)	2 (1-3)	2 (1-3)	3 (2-3)	2 (2-3)	3 (2-3)	2 (2-3)	0.18
産科医師不足	3 (2-4)	3 (2-5)	5 (3-5)	4 (3-4)	3 (2-5)	3 (2-5)	3 (2-5)	0.60

地域への異動 政策支持_自 身								
産科医師不足 地域への異動 政策支持_同 性同世代	3 (2-5)	4 (3-5)	4 (3-5)	4 (3-5)	4 (3-4)	4 (3-5)	4 (3-5)	0.67
集約化を支持 _意向	3 (2-4)	3 (2-4)	4 (2-5)	3 (2-4)	3 (2-5)	3 (2-5)	3 (2-4)	0.67
集約化を支持 _実際	3 (2-4)	3 (2-4)	4 (3-4)	4 (2-4)	4 (3-5)	3 (2-5)	3 (2-4)	0.52
妊産婦の議論 参加支持_意 向	4 (2-4)	3 (2-4)	4 (3-4)	4 (3-4)	3 (3-5)	3 (2-4)	3 (2-4)	0.69
妊産婦の議論 参加支持_実 際	4 (3-5)	3 (2-4)	4 (3-5)	4 (3-4)	4 (3-5)	4 (2-4)	3 (3-5)	0.87
当直ができな い医師の分娩 取り扱い業務 従事支持_意 向	2 (2-3)	2 (2-3)	3 (2-5)	5 (5-5)			2 (2-3)	0.38
当直ができな い医師の分娩 取り扱い業務 従事支持_実 際	2 (2-3)	2 (2-3)	4 (2-6)	5 (5-5)			2 (2-3)	0.17
産科医師不足 地域への異動 政策支持_意 向	4 (3-5)	5 (4-6)	5 (3-7)	6 (4-6)	6 (3-7)	5 (3-6)	5 (3-6)	0.52
産科医師不足 地域への異動 政策支持_実 際	3 (3-5)	5 (4-6)	6 (4-7)	6 (4-6)	5 (3-7)	5 (3-7)	5 (3-7)	0.078



表 25. 分娩取り扱い医療機関の集約化に関する自他イメージ

	n (%)
自他ポジティブ	166 (75)
多元的無知群	9 (4.1)
ネガティブーポジティブ群	16 (7.2)
ネガティブ群	31 (14)

表 26. 自身の主たる所属施設の集約化に関する意向(多重検定)

		自他ポジティブ	多元的無知	ネガティブーポジティブ
多元的無知	Col mean - Row mean	0.23		
	P-value	0.41		
ネガティブーポジティブ	Col mean - Row mean	-4.18	-2.81	
	P-value	<0.001	0.002	
自他ネガティブ	Col mean - Row mean	-5.53	-3.06	0.04
	P-value	<0.001	0.001	0.48

図 9. 自他イメージ別集約化に関する意向の点数分布

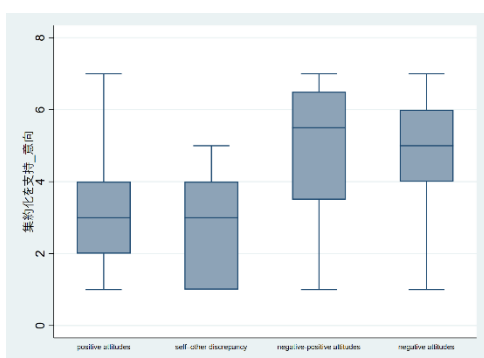


表 27.自身の主たる所属施設の集約化について実際に表明する態度(多重検定)

		自他ポジティブ	多元的無知	ネガティブ-ポ ジティブ
多元的無知	Col mean - Row	0.13		
	mean	0.13		
	P-value	0.45		
ネガティブ-ポ ジティブ	Col mean - Row	-4.16		
	mean	-4.16	-2.72	
	P-value	<0.001	0.003	
自他ネガティブ	Col mean - Row	-5.67		
	mean	-5.67	-3.05	-0.07
	P-value	<0.001	0.001	0.47

図 10. 自他イメージ別集約化について実際に表明する態度の点数分布

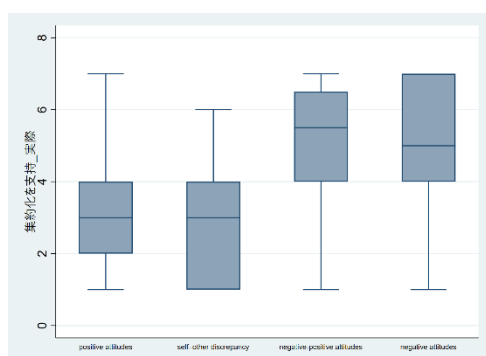


表 28. 妊婦を含む住民の医療提供体制に関する議論への参加に関する自他イメージ

	n (%)
自他ポジティブ群	120 (54)
多元的無知群	16 (7.2)
ネガティブーポジティブ群	11 (5)
ネガティブ群	75 (34)

表 29. 自身の主たる所属施設が所在する地域の医療提供体制に関する議論への妊婦を含む住民の参加に関する意向(多重検定)

		自他ポジティブ	多元的無知	ネガティブー ポジティブ
多元的無知	Col mean - Row			
	mean	-1.01		
	P-value	0.16		
ネガティブー ポジティブ	Col mean - Row			
	mean	-1.78	-0.74	
	P-value	0.038	0.23	
自他ネガティブ	Col mean - Row			
	mean	-7.99	-3.3	-1.91
	P-value	<0.001	0.001	0.028

図 11. 自他イメージ別議論への妊婦を含む住民の参加に関する意向の点数分布

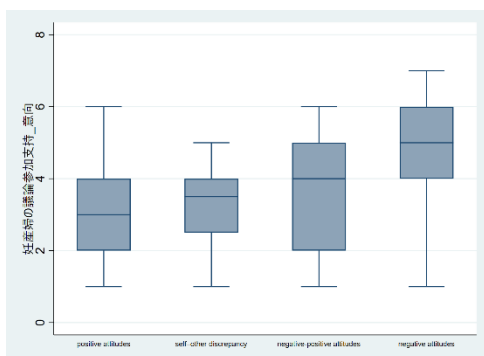


表 30. 自身の主たる所属施設が所在する地域の医療提供体制に関する議論への妊婦を含む住民の参加について実際に表明する態度(多重検定)

		自他ポジティブ	多元的無知	ネガティブ-ポジティブ
多元的無知	Col mean - Row mean	-1.3		
	P-value	0.097		
ネガティブ-ポジティブ	Col mean - Row mean	-2.08	-0.79	
	P-value	0.019	0.22	
自他ネガティブ	Col mean - Row mean	-7.78	-2.91	-1.52
	P-value	<0.001	0.002	0.064

図 12. 自他イメージ別議論への妊婦を含む住民の参加について実際に表明する態度の点数分布

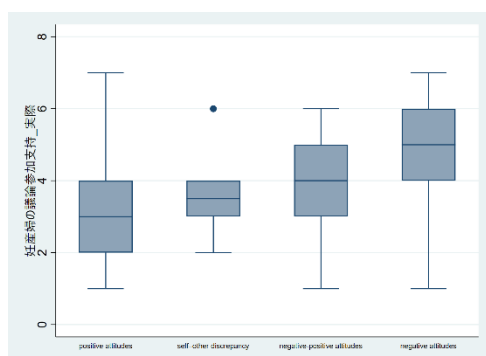


表 31. 分娩取り扱い医師が充足している地域から不足する地域へ異動させる行政の施策に関する自他イメージ

	n (%)
自他ポジティブ群	97 (44)
多元的無知群	16 (7.2)
ネガティブーポジティブ群	7 (3.2)
ネガティブ群	102 (46)

表 32. 自身が依頼された場合の異動に関する意向(多重検定)

		自他ポジティブ	多元的無知	ネガティブー ポジティブ
多元的無知	Col mean - Row mean	-0.83		
	P-value	0.2		
ネガティブー ポジティブ	Col mean - Row mean	-1.16	-0.5	
	P-value	0.12	0.31	
自他ネガティブ	Col mean - Row mean	-5.66	-2.15	-0.9
	P-value	<0.001	0.016	0.18

図 13. 自他イメージ別異動に関する意向の点数分布

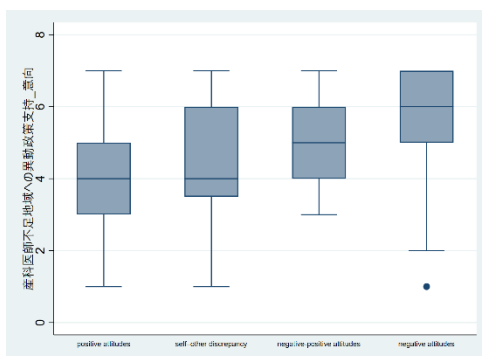


表 33. 自身が依頼された場合の異動について実際に表明する態度(多重検定)

		自他ポジティブ	多元的無知	ネガティブ-ポ ジティブ
多元的無知	Col mean - Row mean	-0.04		
	P-value	0.48		
ネガティブ-ポ ジティブ	Col mean - Row mean	-1.5	-1.27	
	P-value	0.067	0.1	
自他ネガティブ	Col mean - Row mean	-5.42	-2.82	-0.46
	P-value	<0.001	0.002	0.32

図 14. 自他イメージ別異動について実際に表明する態度の点数分布

